

Société Franco-Japonaise de Philosophie

日仏哲学会

会報90号 2020年2月20日

☆ 2020年春季研究大会のプログラムが下記のとおり決定いたしました。

(プログラムはHPにも掲載いたします。)

日時：2020年3月21日（土） 9時15分-17時40分

会場：京都大学 吉田キャンパス 文学部校舎（受付2階）（詳しくは本会報末尾のマップを参照）

- ・一般研究発表： A会場 第一講義室（別棟1階）
 B会場 第二講義室（別棟1階）
 C会場 第四講義室（2階）
 D会場 第六講義室（2階）
- ・シンポジウム 第七講義室（2階）
- ・理事会・編集委員会 第三演習室（2階）
- ・会員控え室 第五講義室（2階）

懇親会

時間：18時00分-20時00分

場所：京大生協カンフォーラ

会費：5000円（非常勤・学生3000円）

タイムスケジュール

1. 一般研究発表 9時15分-12時55分

A会場（文学部第一講義室） 【司会①②：沢崎壮宏、③④：平井靖史】

① 10:00-10:40

竹中 利彦 マルブランシュにおける物質による精神の比喩的説明について——コンディヤックによる批判を通して——

② 10:45-11:25

今野 諒子 初期ライブニッツの作用について——実体的結合の概念を手がかりに——

③ 11:30-12:10

濱田 明日郎 ベルクソン『物質と記憶』第四章において物質の等質性はどのように可能か

④ 12:15-12:55

福田 肇 もうひとつの〈欲望の倫理〉——ジャン・ナベールにおけるカント倫理学の再読解の試み——

B会場（文学部第二講義室） 【司会①②：長坂真澄、③④：亀井大輔】

① 10:00-10:40

吉野 斉志 レヴィナス『全体性と無限』における独我論的自我とその受肉

② 10:45-11:25

山野 弘樹 歴史とフィクションはどこで交叉するのか——リクール『時間と物語』における「歴史記述」論の批判的再読解——

③ 11:30-12:10

中間 統彦 「宗教的なもの」を巡るデリダ思惟におけるカント

④ 12:15-12:55

森脇 透青 初期デリダにおける「まなざし」と「声」

C会場（文学部第四講義室） 【司会①②：藤田尚志、③④⑤服部敬弘】

① 9:15-9:55

藤井 千佳世 カンギレムの医学哲学における個体主義とその倫理的射程

② 10:00-10:40

市川 博規 ジャン=リュック・ナンシーにおける身体論と言語について

③ 10:45-11:25

小倉 拓也 アンリ・マルティネの感覚の現象学

④ 11:30-12:10

小林 徹 構造と存在の間に：フィリップ・デスコラの身体論

⑤ 12:15-12:55

Masatoshi IINO L' éternel retour et l' individuation dans *Différence et répétition* de Gilles Deleuze

D会場（文学部第六講義室） 【司会：①②③米虫正巳、④⑤檜垣立哉】

① 9:15-9:55

佐原 浩一郎 ジル・ドゥルーズによるライブニッツにおける「呪われたもの」の解釈について

② 10:00-10:40

香川 祐葵 リトルネロと主観性

③ 10:45-11:25

南 匠真 『意味の論理学』から『アンチ・オイディプス』へー「器官なき身体」の観点から

④ 11:30-12:10

戸澤 幸作 ジル・ドゥルーズ『差異と反復』と『シネマ』における「崇高モデル」

⑤ 12:15-12:55

内藤 慧 ドゥルーズ『感覚の論理学』における「器官なき身体」の定義と、「力」

2. 理事会

時間：12時55分-14時10分

会場：文学部第三演習室

3. シンポジウム

時間：14時10分-17時40分

会場：文学部第七講義室

テーマ：「第二帝政と哲学者たち」

企画責任者：村松正隆（北海道大学）

提題者：高山裕二（明治大学）「ボナパルティズム再考」

宮代康文（慶應義塾大学）「共和主義哲学とカエサル主義——第二帝政下のジュール・バルニ」

伊多波宗周（京都外国語大学）「第二帝政期におけるブルードンの思想展開」

特定質問者：赤羽 悠（早稲田大学）

4. 懇親会

時間：18時00分-20時00分

会場：京大生協カンフォーラ（吉田キャンパス）

☆ イベントのご案内

大会の前日に、日仏哲学会提案型ワークショップを開催いたします。

ワークショップ「ベルクソン『試論』の思想史的ポテンシャルを探る」

日時： 2020年3月20日（金）16-19時

場所： 京都大学文学部第7講義室

提題者：安孫子信、杉村靖彦、檜垣立哉、合田正人（提題順）

司会： 藤田尚志

主催： PBJ (Projet Bergson au Japon)

大会の翌日に、日仏哲学会共催で以下のイベントが開催されます。

ジャック・デリダ講義録『生死（1975-76年）』ワークショップ

日時：2020年3月22日（日）15-17時

場所：立命館大学（衣笠キャンパス）末川記念会館第3会議室

発表：亀井大輔、吉松寛、松田智裕、小川歩人

司会：西山雄二

主催：脱構築研究会

共催：間文化現象学研究センター

★ 会員の皆様へのお知らせとお願い

1. 過去の機関紙掲載論文のHP公開について

2019年の秋季大会にて、『フランス哲学・思想研究』の過去の全号について、PDFを学会HPで順次公開していくという方針が決まりました。つきましては、ご自身の過去の掲載論文について、公開を希望されない方は、号数と論文名を明記の上、2020年12月31日までに、その旨学会事務局（secretariat@sfjp-web.net）までお知らせ下さいますようお願いいたします。

2. 会費納入のお願い

機関誌の最近の質量両面での充実は学会にとって大変喜ばしいことです。ただ、機関誌の発行費が学会予算の過半を占めている結果、財政的には大変厳しい状況になっています。つきましては、会員の皆様には遅滞なく年会費（4000円）を納入していただきたく、改めてお願い申し上げます。会費は春季大会会場で直接お支払いいただけます。また、以下にあります学会振替口座には、常時お振込みいただくことができます（事務局よりお配りした振込用紙をお持ちの方はそちらをご利用ください）。

なお3年間の会費滞納が確認された方には「機関誌」の、また5年間の滞納が確認された方には「会報」の、それぞれ発送を停止させていただいています。

3. 「会報」の電子媒体での送付についてのお願い

メールアドレスをご登録いただいている皆様には、「会報」をメール添付でお送りしておりますが、まだ「会報」を郵便でお受け取りいただいている方で、メール添付で構わないという方がおられましたら、下記事務局までご一報下さい。

【日仏哲学会事務局】

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学文学研究科 杉村研究室内

e-mail: secretariat@sfjp-web.net

郵便振替口座記号番号：00120-6-194046 / 加入者名：日仏哲学会

☆2020年春季大会会場（京都大学吉田キャンパス 本部構内 文学部校舎）までのご案内

京都大学吉田キャンパスまでは電車・バスがご利用いただけます。

・京都駅から

○市バスのみ

市バス 206号系統 高野・北大路バスターミナル方面 「京都駅前」→「京大正門前」

○京都市営地下鉄→市バス

地下鉄烏丸線 国際会館方面 「京都」→「今出川」

市バス 201号系統 百万遍・祇園方面 「烏丸今出川」→「京大正門前」

・阪急京都河原町駅から

市バス 201号系統 百万遍・祇園方面 「四条河原町」→「京大正門前」

・京阪電車沿線から

出町柳駅下車、百万遍交差点まで徒歩10分程度

百万遍交差点および京大正門前からは以下の地図をご参照ください。

大会会場となる文学部校舎は、★マークで示した8番の建物です。

懇親会会場となるカンフォーラは、●マークで示した2番の建物です。京大正門のすぐそばです。

